



「見たり、聞いたり、探ったり」No.248

通算 No.400

青木行雄

時代をみつめて 2020年9月場所、コロナ禍の大相撲 初優勝の「正代」と時津風部屋

初優勝した「正代」の部屋、まずは「時津風部屋」がどんな部屋なのかの歴史から紹介したい。

1942年(昭和17年)時津風部屋は、かの大横綱・(大分県出身)双葉山がその実績から二枚鑑札(現役力士のまま弟子の育成をすること)を許可され「双葉山相撲道場」を設立したことから始まった。

双葉山は、太平洋戦争終戦直後の1945年(昭和20年)11月場所で引退、第十二代・時津風を襲名し、ここに「時津風部屋」が誕生した。双葉山道場の看板は、現在も時津風部屋の入り口に掲げられている。

第十二代・時津風は1968年(昭和43年)12月16日、満56歳でこの世を去るまでの間、約11年間にわたって第三代相撲協会理事長を務めるとともに、一横綱(鏡里：十三代・時津風)、三大関(大内山、北葉山、豊山：十四代・時津風。第八代相撲協会理事長)をはじめとする多くの力士を育成してきた。



両国、国技館、日本相撲協会、東京会場



国技館の前に立つ相撲旗



現在は十六代、時津風・正博(元時津海)

現在は十六代・時津風 正博(元・時津海)の指導のもと多くの力士が日々研鑽を積んでいる。

こんな歴史をもつ時津風部屋の中に今場所(2020年9月)13勝2敗で初優勝した関脇の「正代」がいる。

「正代直也」の来歴

本名・正代直也(しょうだいなおや)は1991年(平成3年)11月5日生れ。熊本県宇土市出身で時津風部屋所属。今回9月場所で初優勝した。現役大相撲力士である、四股名に本名を使い同名である。身長184cm、体重165kg、血液型はA型、得意技は右四つ、寄り。優勝時は大関であった。

アマチュア時代をちょっと紹介すると、宇土小学校1年生の頃に公園で相撲を取って遊んでいたところ、宇土少年相撲クラブの監督に見出され道場に通うようになった。最初は遊び感覚であったが、学年が上がるにつれて稽古は本格化した。小学5年生でわんぱく相撲の全国大会に出場し、全中の団体優勝メンバーとなる。そして、熊本農業高校3年生のとき国体相撲少年の部で優勝している。その後東京農大に進学し、2年生で学生横綱となったが、角界入りを考え始めたのは大学4年生になった夏頃からであったようだ。

農大卒業後、農大相撲部と関わりの深かった時津風部屋に入門して、2014年(平成26年)3月場所で初土俵となる。苦戦2年の後、2016年(平成28年)1月場所で新入幕(西前頭12枚目)した。熊本県から新入幕は、2014年(平成26年)5月場所の佐田の海以来戦後20人目であるという。

初土俵から11場所所要の新入幕は、1958年(昭和33年)以降初土俵ではスピード3位タイである。

正代は2017年(平成29年)1月場所から、三役の新関脇に昇進した。この新関脇は初土俵から所要17場所で史上2位タイのスピード出世で、農大から新関脇になったのは豊山勝男以来2人目という。

その後、負け越しもあって、東前頭7枚目の地位に降下したが、2019年(平成29年)5月場所で半年ぶりに勝ち越しになった。

2020年(令和2年)1月場所で13勝を挙げ、敢闘賞を受賞した。そして、2020年、同3月場所、18場所ぶりに三役の関脇に返り咲いた。

19場所ぶり関脇の地位で臨んだが、8勝7敗のぎりぎり勝ち越しで終えた。



正代直也
本名同じ
2020年9月27日千秋楽で初優勝した。(13勝2敗)28歳



2019年、9月22日の千秋楽、会場風景、まだコロナ流行の前である

2020年(令和2年)7月場所は、13日目に白鵬休場による不戦勝などもあって、自身初の三役での2桁勝利を記録した。14日目には単独先頭、この場所優勝の照ノ富士を破る活躍もあったが千秋楽は照ノ富士が御嶽海を破ったことにより目の前で優勝が決まりさらに新大関の朝乃山に敗れ11勝4敗で終わったのである。

そして2020年、いよいよ9月場所となり、初日から白星スタートで3連勝したが、4日目に7月場所優勝者の照ノ富士に負け黒星になった。7日目には小結隠岐の海にも土をつけられるもその後はまた白星を重ねていき、13日目には大関貴景勝を突き落とし、14日目には大関朝乃山を押し出して破った。そして千秋楽には11勝3敗の新入幕力士翔猿を突き落として下し、自身初、熊本県出身の力士では年6場所制定着以降初の幕内最高優勝を決めたのである。

打ち出し後、伊勢ヶ浜審判部長が大関昇進を諮る臨時理事会の召集を八角理事長に要請した。そして9月30日、両国国技館で開催された大相撲令和2年11月場所、番付編成会議と臨時理事会において、正代の大関昇進が満場一致で承認されたのである。新大関は2020年3月の朝乃山以来で、時津風部屋からは元理事長の豊山以来57年ぶり、熊本県出身では1962年(昭和37年)7月の栃光以来58年ぶり、墨田区の時津風部屋で行われた伝達式では、「謹んでお受けします。大関の名に恥じぬよう、至誠一貫の精神で相撲道に邁進して参ります」と口上を述べたのである。



2019年、5月場所、トランプ大統領来日の日幕内披露



初優勝をきめた時の勇姿である



13勝2敗で翔猿との一戦。突き落として破った
出典：『朝日新聞』

「正代」のエピソードの一部

2016年(平成28年)12月12日、熊本地震で被災した地元の宇土市を慰問で訪れ、中学時代に好きだった元同級生の女性と対面を果たした。握手の順番が回ってきた1人の女性を前に正代は「かっ、えっ」と驚きを見せたという。その後、女性と記念撮影し、「中学時代に好きだった人です」といきなり、皆の前で言って周囲の人を驚かせたという。女性は「ケンカがあった時は、中に入って止めたりする人でした」と恥ずかしそうに明かしたらしい。



正代の昇進伝達式で口上をのべる本人。師匠の時津風親方の代理、部屋付きの枝川親方。「大関昇進」
出典：『朝日新聞』

2019年(令和元年)12月17日の発表により、2020年東京オリンピックの熊本県代表の聖火ランナーに選ばれたようである。オリンピックは1年延期になったが、聖火も予定通り、延期で実行するらしい。初優勝した正代のランナー勇姿は宇土市のほこりになるだろう。

秋場所星取表																															
優勝 正代 (13勝2敗 初)																															
殊勲賞 正代(初)																															
敢闘賞 正代(6)翔 猿(初)																															
技能賞 該当者なし																															
2020年9月13日~27日 国技館																															
【東】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	【西】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
白鵬 高砂35	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	横綱 鶴亀 35	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	
朝乃山 高砂26	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	大関 貴景勝 24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
正代 時津風26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	関脇 御嶽海 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大栄翔 追手風26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小結 遠藤 29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
隠岐の海 八角35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	前1 隆の勝 25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
照ノ富士 伊勢濱26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同2 玉鷲 35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北勝富士 八角28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同3 照強 25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
妙義龍 境川33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同4 栃ノ心 32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊山 時津風27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同5 宝富士 33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
霧馬山 陸奥24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同6 輝 26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高安 茨城25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同7 碧山 34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
竜電 高田29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同8 若隆 25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
徳勝龍 木曾川34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同9 阿武咲 24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
炎鵬 宮石25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同10 琴恵光 28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
佐田の海 境川33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同11 琴奨菊 36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千代大龍 九東31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同12 魁聖 33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
琴勝峰 佐渡21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同13 石浦 30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
明生 立浪25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同14 阿全 26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
翔猿 追手風26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同15 松鳳山 31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
志摩ノ海 三浦31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同16 豊昇龍 21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
旭大星 友綱30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同17 逸ノ城 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
逸ノ城 三浦27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
十両 千代の国 (14勝1敗 九重)	幕下 寺沢 (7戦全勝 高砂)							三段目 北天海 (7戦全勝 尾上)																							
	序二段 北青鵬 (7戦全勝 宮城野)							序ノ口 久之虎 (7戦全勝 出羽海)																							

出典：『朝日新聞』朝刊、2020年9月28日(月)

「正代」の略歴

1. 四股名 正代直也
本名 正代直也
生年月日 1991年(平成3年)11月5日28歳
出身 熊本県宇土市
身長 184cm
体重 165kg
BMI 48.74
所属部屋 時津風部屋
得意技 右四つ、もろ差し、寄り、掬い投げ
初土俵 2014年(平成26年)3月場所
入幕 2016年(平成28年)1月場所
趣味 映画 漫画

出世年表

- 2014年(平成26年)3月場所－初土俵
2015年(平成27年)9月場所－新十両
2016年(平成28年)1月場所－新入幕
2017年(平成29年)1月場所－新関脇(新三役)
2017年(平成29年)3月場所－新小結
2020年(令和2年)11月場所－新大関

通算成績

2020年(令和2年)9月場所終了現在

- ※通算成績 292勝214敗(39場所)
※幕内成績 224勝196敗(28場所)
※十両成績 24勝6敗(2場所)
※三役在位 5場所(関脇4場所、小結1場所)

時津風部屋のビジョン

「稽古は本場所のごとく、本場所は稽古のごとく」

かつて双葉山が残したこの言葉は、相撲界ではあまりにも有名であるという。

いつであろうと実戦を意識し、集中を研ぎ澄ませて相手にぶつかる、本場所と変わらない緊張感の中で

稽古を重ねなければ、実戦で力を出し切れないという教えである。

勝利を貪欲に求めるが故の、一心不乱の猛稽古。時津風部屋の稽古は、稽古でありながら真剣勝負そのものである。

ひたむきに勝利を求め、されどその力強さは土俵の上に華々しく。

多くの観客を魅了してやまない時津風部屋の相撲を、とくにご照覧あれ。

「伝統から 新たな歴史を」

こんな伝統のある相撲部屋にきたえられ、今回優勝した「正代」はこれから次の横綱へと昇進し、相撲界の重鎮となる事を期待する。



右より読んで「双葉山相撲道場」と書かれている

2020年10月18日記

参考資料

朝日新聞

日経新聞

ウィキペディア